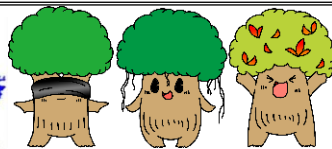




三本木



令和8年 3月 4日（水）
石垣市立白保小学校
TEL：86 - 7840
FAX：86 - 7396

残された日々を大切に！卒業まであと10日

6年間の小学校生活があと10日ほどで終わろうとしています。音楽室の外では、6年生が卒業式で歌う歌を練習していて、校長室まで美しい歌声が響き渡っていたので様子を撮影してきました。「♪いま、卒業の時～♪」聞こえてくる歌詞にちょっと泣きそうになりました。残された日々を大切に！



自立心を育むために親ができること

その2 自己決定する機会を多くもつ

人生や進路を主体的に選択し、自分の足で人生を歩んでいくためには、「自己決定力」が必要です。前号に掲載したその1「親子の課題を分離する」にも関連しますが、**子ども本人が関わることはできるだけ自分で決めさせる**機会を増やすことです。「今日はどちらの服を着ようか」「どのおかずから食べよう」など、子ども自身による小さな決定の積み重ねが大切です。必ずしも選択肢から選ぶ必要はなく、難しい場合は「わからない」や「どちらでもいい」といった曖昧な答えでも構いません。また、ことあるごとに「あなたはと思う？」「どうしてそう思ったの？」と答えのない問いも投げてみましょう。答えられるかどうかは別として、子どもが自分の感情や考え、価値観に目を向けるきっかけとなりますし、思考するトレーニングにもなります。なにより、親が子どもを「**子ども扱い**」することなく**一人の人間として尊重し、考えを聞く姿勢を見せる**ことで、子どもが安心して自己決定をしやすくなるのです。

神戸大学の西村教授らが行った幸福度に関する研究によれば、「健康」と「人間関係」に次いで、「**自己決定力の高さ**」が人の幸福度に大きな影響を与えていることがわかりました。自己決定は、所得や学歴以上に人の幸福感を左右しているという結果には驚きです。自己決定によって進路を決定すると、自分で選び取ったという責任感があり、その目標に向かって努力も怠らないため、自己肯定感も高まるといわれています。人生で起こる様々な出来事に対し、**誰かに干渉されることなく自分で選択・決定を積み重ねていくことが、幸せな生き方につながっていく**のです。ここで注意したいのは、自己決定の機会を多く持つというのは、なんでもかんでも子どもの自由に任せるということではありません。大人が子どもの言いなりになるということでもありません。寒い日に「半袖を着ていく！」と息巻いている子どもには、風邪を引くので、やはり長袖を着て貰う必要があります。親から見ると譲れない部分はあるので、この3つの選択肢ならどれを選んででも受け入れられる、というものを用意したり、子どもが選択できる範囲を予め決めておいたりといった工夫も必要となるでしょう。

ロボットプログラミング教室「ロボ団」～子育てのゴールは子どもの自立～より引用

PTA 文化部による読み聞かせII

1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生



2月24日(火)保護者による本の「読み聞かせ」がありました。今回はお父さん方に入っていただきました。全学年ではありませんでしたが、お母さんとお父さんの声による違いや、本のセレクトなどまた違った意味での新鮮さを味わったのではないのでしょうか。ご協力頂いた保護者の皆様ありがとうございました。

2/19 第2回さぶっこ食堂!



さぶっ子の活躍 各種大会・検定・コンクールの入賞・合格者

算数・数学検定（12月3日）
【9級合格】3年 平地 めぐ



英検 公益財団法人
日本英語検定協会
英語検定（1月24日）
【5級合格】4年 多字 穂乃佳

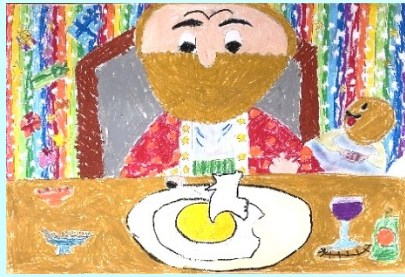


JA 共済第9回 Jr.バレーボールフェスタ(本部町)
(2月22日)

【優勝】 八重山選抜女子チーム
白保バレーボールクラブ
6年 大泊 小華 友利 茅寿 宮良 陽葵



第62回全沖縄青少年読書感想文感想画
コンクール（1月24日）
【感想画 自由の部 入選】 八重山地区より県選出
2年 五十嵐 わかば



(作品名)
「しゃべる
にわとり」
(書籍名)
「おしゃべりな
たまごやき」

第63回沖縄教育版画コンクール（1月24日）
【特選】5年 大道 璃保奈

※作品は特選および優秀作品のみの掲載となっています。
5年 茂山 夏央 【優秀】2年 五十嵐 わかば 5年 神保 智香



【佳作】2年 新里 怜央 前川 律
西玉得 李心 友利 緒寿
5年 五十嵐 かえて



※佳作は優秀作品の次点です

2月27日 鼓笛隊 引継ぎ式より



卒業を前に6年生から5年生への引継ぎが行われました。6年生が数々の楽曲を演奏するその姿は、まさに「威風堂々」としていて自信がみなぎっていました。それぞれの楽器や役割を受け継いだ5年生は、今まで見る側だった憧れの「鼓笛隊」演奏に喜びを感じながら堂々と演奏する姿を見せてくれました。

